

# 北海道浮魚ニュース

令和2(2020)年度 11号

2020年7月31日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

## 令和2年度サンマ長期漁海況予報（道東～常磐海域）発表される

7月31日、水産庁より令和2年度サンマ長期漁海況予報（道東～常磐海域）が発表されたので概要をお知らせします。なお、この予報は関係試験研究機関による資源調査結果等を踏まえて、水産研究・教育機構が取りまとめました。

予報文の詳細は、以下のサイトでご覧になれます。

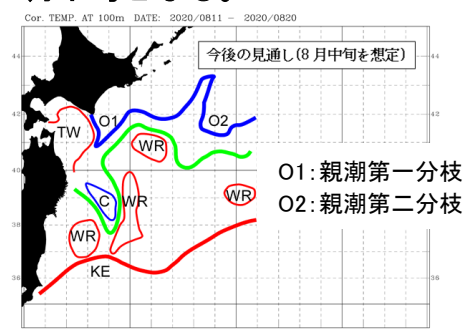
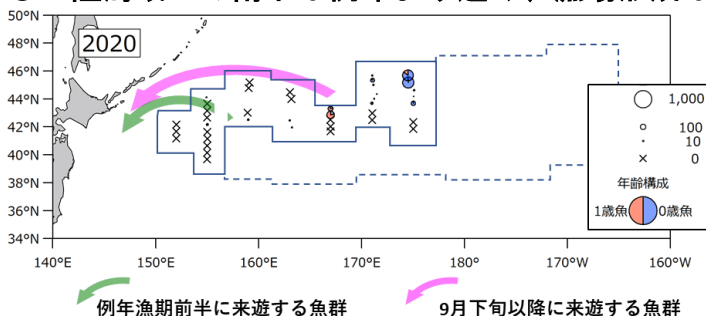
水産庁：<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sigen/200731.html>

### 今後の見通しのポイント

（漁況：令和2年8月～12月、海況：令和2年8月～9月）

対象海域：北西太平洋（道東海域から常磐海域）、対象漁業：サンマ棒受網（8月～12月）

- 漁期を通じた来遊量は昨年を下回り、極めて低調に推移する。
- 1歳魚（6月～7月の調査時：体長27cm以上、8月以降の漁期中：体長29cm以上）の平均体重は昨年を下回る。漁期を通じて昨年より1歳魚の割合が低い。
- 大型船が出漁する8月下旬の主漁場は択捉島以北の海域に分散して形成されるほか、北海道東方沖の公海も漁場となる可能性がある。
- 魚群は親潮第二分枝に沿って南下すると考えられ、漁場は沖合に広く分散し、道東沿岸の親潮第一分枝沿いでは漁場がほとんど形成されない。
- 三陸海域への南下は例年より遅く、漁場形成は10月下旬となる。



令和2年6月～7月に行った調査船調査の結果

（点線は例年の調査海域、実線は今年調査できた海域）

海況の今後の見通し（8月中旬）

（釧路水産試験場 調査研究部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225）